

第6回大分県ミックスソフトテニス大会
兼第5回全日本ミックスダブルス選手権大会県予選会

- 1 主 催 大分県ソフトテニス連盟
- 2 主 管 大分県ソフトテニス連盟 競技委員会
- 3 期 日 2024年4月7日(日) 開場 8:00～
- 4 会 場 大分スポーツ公園レゾナックテニスコート (8面)
- 5 種 別 個人戦(ミックスダブルス)
(1) 一般ミックス (男女どちらか高校3年生は可)
(2) シニアミックス ①80歳の部 (35歳以上女子、45歳以上男子)
②100歳の部 (45歳以上女子、55歳以上男子)
③120歳の部 (55歳以上女子、65歳以上男子)
④130歳の部 (60歳以上女子、70歳以上男子)
- 6 ル ー ル (公財)日本ソフトテニス連盟ハンドブックによる。
- 7 参加資格 (1) 公認審判員制度の有資格者であること。
(2) 2024年4月1日に該当する年齢に達した者。
(3) 1人1種別とする。
(4) 高校生は、保護者の承諾が得られた者。
- 8 試合方法 (1) 原則として、リーグ・トーナメント方式とする。
(2) シニアミックスの種別の実施について
① 参加ペア数が3ペアに満たない2ペアの場合は2対戦を行い得失点により1位を決定する。(ただし、県ランキングの成績には含まない)
② 参加ペア数が1ペアの場合は、年齢の低い種別へ移行する。
(ただし、45歳以上の部は不成立となります)
- 9 表 彰 各種別 1位～3位まで表彰する。(但し、参加ペア数により1位のみの場合もある)
- 10 参加料 1ペア 3,000円
※2024年度の会員登録の未登録者が含まれる場合は1.5倍となります。
- 11 申込方法 (1) 大会申込システムにより各団体より申し込むこと。
(2) 申込期日 2024年3月27日(水)
- 12 参加基準 (1) ユニフォーム及びシューズは、「ユニフォーム等の着用基準」を遵守した製品を着用すること。
(2) ラケットは、連盟の公認のマークを添付されたものを使用すること。
(3) 選手変更は大会当日の受付時までに行うこと。
(4) 日本連盟指定のゼッケンを着用し、必ず四隅を止めること。
- 13 特例規則 (1) ユニフォームに関する事項
オーバーウェア及び長袖スポーツシャツ、セーター等は、着用可能とする。
(2) 水分補給に関する事項
偶数ゲーム後の審判台付近での水分補給を認める。ただし、事前に審判台下へ飲み物を置くこと。
- 14 代表権 本大会の一般ミックスの部、ベスト16のペアは2024年6月17～18日に奈良県で開催されます第5回全日本ミックスダブルス選手権大会の参加資格を与える。
- 15 そ の 他 (1) 日本ソフトテニス連盟に会員登録していない参加者は、傷害補償制度を利用できません。各自でスポーツ保険等に加入することをお勧めします。
(2) 大会に係る映像等の広報についての活用と、一切の権利については、県連に帰属し承諾するものとする。

ユニフォーム等の着用基準について

令和元年6月10日 改訂

ソフトテニス競技者は競技会において、マッチ中は本連盟の公認するメーカーのユニフォームおよびシューズを着用するものとする。ただし、大会主催者が認めた場合にはこの限りではない。

1. ユニフォーム

男子の場合、ゲームシャツと裾が膝より上のパンツ、女子の場合、ワンピースまたはゲームシャツと裾が膝より上のパンツ、スカートとする。

※Tシャツ、ジーンズはユニフォームとして着用できない。

2. シューズ

テニスコートを傷つけないテニスシューズとする。

3. その他

マッチ中に使用する物品については、本連盟が認める下記の範囲を超えて広告とみなされる企業名、商標等および所属名を表示してはならない。

(1) 製造メーカー

企業名、商標のロゴ等は20cm²以内のものを、各製品それぞれ2箇所以内の表示とする。

ただし、シューズについては箇所の制限をしない。

(2) ユニフォーム広告等

①スポンサー広告

スポンサーの企業名、商標のロゴ等の広告を表示する場合は1広告につき40cm²以内とする。

②登録団体名

団体名（ロゴ・校章含む）の表示については、シャツ（ワンピース含む）が1表示130cm²以内、パンツ・スカート等は40cm²以内とする。

※（2）については国民体育大会を除く。

※（2）の貼付等により（1）を覆い隠してはいけない。

※（2）について大会スポンサーはこの限りではない。

《ウェアに関する特例》

(1) オーバーウェア及び長袖スポーツシャツ、セーター等の着用については、大会主催者が認める場合のみ着用可能とするが、ゼッケンは最上衣服に貼付すること。

(2) アンダーウェア（長袖を含む）及びスパッツの着用については、単色の製品を原則とする。